

令和4年度第1回松原市国民健康保険運営協議会（書面開催）会議録

1. 開催日時

令和5年2月15日（水）～令和5年2月28日（火）

2. 運営協議会委員

（公益代表）

河内徹委員 井上彰人委員 村川航介委員 野口真知子委員

（被保険者代表）

平井傳子委員 雑賀紀美子委員 久堀雅清委員 中瀬光夫委員

（保険医又は保険薬剤師代表）

木下裕介委員 妻谷憲一委員 岡田安司委員 下村康雄委員

（被用者保険等代表）

碓保寛委員 川隅正尋委員

3. 書面表決案件及び結果

＜表決事項＞ ①国民健康保険運営協議会会長の選出について

＜結果＞ 推薦のあった河内徹委員を会長に選任することについて、全委員からの回答があり、賛成14・反対0の結果、全会一致により承認

4. 報告案件について

＜報告事項＞ ②国民健康保険の運営状況の報告について（別添資料）

＜意見及び質問＞ 別紙に記載

5. その他

令和4年度第1回国民健康保険運営協議会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和5年2月15日に表決事項及び報告事項に関する書類を郵送し、令和5年2月28日までに返信により表決及び意見聴取を行う方式（書面開催）により実施しました。

令和4年度第1回松原市国民健康保険運営協議会

資料該当箇所	意見及び質問	事務局回答
P5.保険料収納率の推移について	<p>グラフに見られるこの5年間の松原市の収納率の上昇は関係者の皆さんの努力のおかげと頭が下がる思いです。</p>	<p>収納率の向上は、滞納者への催告や納付相談等、日々の地道な取り組みの結果であり、急激な増加を見込めるものではありませんが、平成30年度よりキャッシュカードで口座登録ができるペイジーの導入による口座振替の推進や、コロナ禍における非接触での支払いが可能なスマートフォン決済アプリによる納付等により、多様な支払方法を提供したことや、初期滞納者へのアプローチに重点を置いたことが収納率向上の要因であったと分析しています。</p> <p>さらなる収納率向上へ向けて、引き続き取組みを進めてまいります。</p>
P11.特定健診受診率比較	<p>この5年間の推移で「府下平均」との差がどんどん縮まり、来年度は追い越そうかという勢いを感じます。頼もしい限りです。</p> <p>関係者の皆さんにお礼申し上げます。</p>	<p>平成30年度より特定健診の自己負担をなくし、無料でできる環境を整え、近年では、受診勧奨に力を入れてまいりました。次年度以降も引き続き受診率向上に努めてまいります。</p>
P11.特定健診受診率について	<p>市医師会との連携により令和3年度では府下平均値ぐらまで向上されています。</p> <p>このまま受診率向上を継続され、府下平均以上の受診率になられる様に望みます。</p>	<p>今後も松原市医師会との連携によるかかりつけ医からの受診勧奨など効果的な取組みを継続するとともに、その他の取組みについても結果分析を進め、受診への呼びかけを行ってまいります。</p>